

# 富士テクソリューションズ(2336)

コロナ禍でもIT技術者はリモートテレワークで業務対応可能であり、技術者派遣請負事業の更なる伸びを期待

TOKYO PRO Market | IT サービス | 業績フォロー

BLOOMBERG 2336 JP | REUTERS 2336.T

- 2020/3通期は、売上高が前期比13.3%増、営業利益が同45.0%増、経常利益が同74.6%増、当期利益が同10.2%増の増収増益だった。
- 顧客ニーズに合わせて技術者派遣・チーム請負・受託開発を行う高度な専門技術を持った技術者人員の増加が業績の伸びに寄与した。
- コロナ禍でも高度なIT技術を持つ技術者はリモートテレワークで業務対応可能であり、技術者派遣請負事業の更なる伸びが見込まれる。

## What is the news?

5/29発表の2020/3通期は、売上高が前期比13.3%増の21.52億円、営業利益が同45.0%増の6,316万円、経常利益が同74.6%増の4,767万円、当期利益が同10.2%増の1,841万円だった。製造業の様々な装置設計開発部門を中心に2次元CADトレースからより高度な3次元CADモデリングを経て、更に高度な技術を要する機械設計や解析業務において、専門技術をもった技術者が技術者派遣・チーム請負・受託開発を顧客ニーズに合わせて提供してきたことが奏功。技術者人員の増加が増収に貢献した。それに加え、売上高販管費率が同2.4ポイント低下の18.3%となったことが増益に寄与した。また、1株当たり年間配当金を前期の6.00円から8.00円へ増配とした。

事業別の売上高は以下の通り。①情報処理請負事業は前期比2.3%増の8.36億円。②技術者派遣請負事業は同23.2%増の12.17億円。その内、IT系企業への派遣に強みを有する連結子会社の横芝は同68.0%増の4.23億円と堅調に伸びた。③プロダクト販売事業が同4.4%増の9,878万円。その内、3DプリンタおよびCAD関連のソフトの販売を行う連結子会社エフティ・ファインテックプロダクトは同12.9%減の2,570万円だった。

## How do we view this?

新型コロナウイルス感染拡大の影響を現時点で合理的に算定することが困難であるため2021/3通期会社計画を未定とした。同社は経営上の重要課題として財務基盤の強化を挙げている。2020/3期末の自己資本比率は前期末比1.8ポイント改善の3.9%となったものの依然として低い水準である。その主要因としてエフティ・ファインテックプロダクトが設立以来赤字続きであり、債務超過の状態が続いていることを挙げられている。その一方、技術者派遣請負事業を営む連結子会社の横芝の2020/3通期の経常利益は前期比72.4%増の1,964万円だった。コロナ禍においても高度な技術を要する3次元CADモデリングや機械設計・解析業務などのIT関連業務に携わる技術者はリモートのテレワークを通じて業務対応が可能とみられ、技術者派遣請負事業の堅調な伸びによって十分に補うことができるものと考えられよう。

## 業績推移

事業年度	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3F
売上高(百万円)	1,715	1,899	2152	-
経常利益(百万円)	0	27	47	-
当期利益(百万円)	1	16	18	-
EPS(円)	1.32	20.68	22.8	-
PER(倍)	375.00	23.94	21.71	-
BPS(円)	7.44	22.12	37.68	-
PBR(倍)	66.53	22.38	13.14	-
配当(円)	6	6	8	-
配当利回り(%)	1.21	1.21	1.62	-

(※)2017/6/30付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施したが、2018/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPS、1株あたり配当を算定している。(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)  
 株価(円) 495 2020/7/22(基準値)

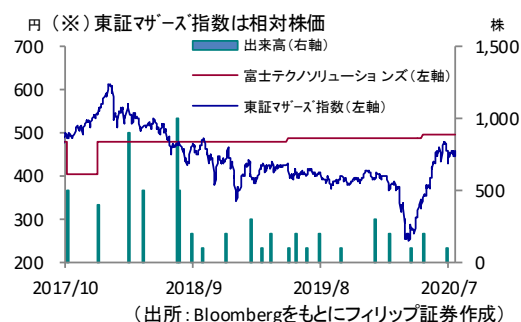
## 会社概要

1976年にPC関連商品の販売などを目的として資本金200万円で前身の有限会社「富士商会」を設立。富士テクソリューションズを主軸に、3Dプリンタの販売およびCAD関連のソフト販売を行うエフティ・ファインテックプロダクト、および技術者派遣事業を運営する横芝の連結子会社2社でグループを構成している。本社のある神奈川県厚木市を主たる商圏とし、大阪市・愛知県の1府2県で製造業のものづくり開発の支援ビジネスを展開。

事業セグメントは以下の通りである。①各メーカーからの依頼により技術提供を行う「情報処理請負事業」、②技術者を各顧客企業に派遣する「技術者派遣事業」、③CAD関連のソフトの販売、環境構築・運用コンサルティングを行う「プロダクト販売事業」を行っている。

2002年に日本証券業協会よりグリーンシート銘柄としての指定を受け株式を登録していたが、2017年3月に同銘柄としての指定を取消した。その後、2017/9/19にTOKYO PRO Marketに上場した。

## 企業データ



## 主要株主(2020/7/15)

株主名	(%)
1.高井 男	39.65
2.原田 久仁子	12.47
3.株式会社高井企画	10.01
4.高井 澄子	5.75
5.株式会社アド・ソアー	5.22

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

## リサーチ部

笹木和弘  
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘  
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。